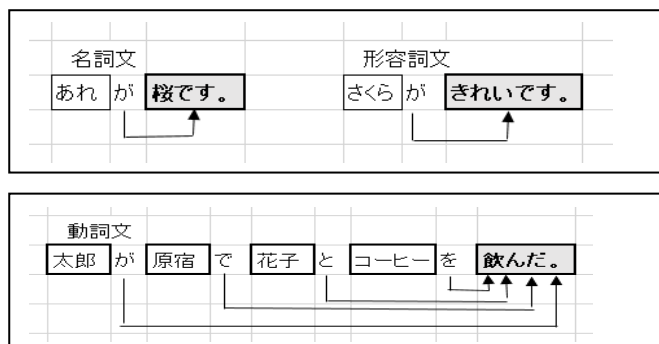


日本語の文型は述語に注目して3つの文型に分類されていると説明しましたが、さらに日本語文は述語を中心にいくつかの成分で構成されています。



名詞＋助詞を成分と見て、それらが述語を修飾していると捉えます。

述語を修飾する場合の助詞のことを格助詞といいます。日本語文法における格助詞はすべて述語との関連をもっているということです。(この点が学校文法と少し違います)

助詞を含む様々な品詞については前段で学校文法との比較で説明しました。ここでは述語として最も複雑な内容を含んでいる**動詞文の動詞**について、ヴォイス、テンス、アスペクトという切り口と、話し手の気持ちを表しているムードという概念について簡単に説明します。

1) ヴォイス	文章中の動作(動詞)を誰の立場から表現するか	関連する文法事項、内容	
	＊能動態と受動態	自動詞	他動詞
	＊使役文	～させる	
	＊授受表現 など	あげる、もらう、くれる、やる	
		～てあげる、～てもらう、～てくれる、～てやる	
2) テンス	その文章がいつの事態を表現しているか	る形、た形	
	過去・現在・未来	絶対テンス、相対テンス	
3) アスペクト	文章中の動作表現がどの局面・段階を表しているか	て形＋補助動詞	
	直前・開始・最中(継続、進行中)・終了・完了・結果	(～ている、～てある、～ていく、～てくる	
	経験・実現・その他	～てみる、～ておく、～てしまう)	
4) ムード	話し手の気持ちを表す	助詞「は」と「が」の違い、「は」は主題	
	心的な状態・感情・意思・フィーリング	いわゆる「ハガ文」:「象は鼻が長い。」	
		～て下さい(依頼)、～て欲しい(願望)	
		～してはいけない(禁止) など	

日本語文法の参考書を見ると、ヴォイス、テンス、アスペクト、ムードという切り口で説明されていることが多いです。

1) ヴォイス (態)

* 能動態と受動態

ヴォイスというのは、文章中の動作（動詞）を誰の立場から表現するかということです。
誰かが誰かに何かをするという表現や誰かが何かをされる、という表現がヴォイスの範疇で説明されます。

	能 動 態	受 動 態		
他動詞	太郎が次郎を殴った。 Taro hit Jiro.	次郎が太郎に殴られた。(受身文) Jiro was hit by Taro.		直接
	家の前に建設会社が高いビルを建てた。 A construction company built a big building in front of our house.	高いビルが建築会社によって 建てられた (日本語×あまり言わない) A big building was built by ~. ○	建設会社に家の前に高いビルを 建てられた。○ 英文 (× こういう表現はしない)	間接受身文
自動詞	今年妻が亡くなった。 My wife died this year.	今年妻に死なれた。○ (英文でI was diedという文はない) dieは自動詞だから英文では受動態に ならない	日本語では自動詞でも 受動文が出来る！ 自動詞の受動態がある！ = 日本語独特	
		子供に泣かれた。(日本語○、英文×)		迷惑の受身文
		泥棒に入られた。(日本語○、英語×)		
		風に吹かれてこよう。(日本語○、英文×)	(迷惑でない自動詞の受身文もある)	
他動詞	太郎が次郎の肩を殴った。 Taro hit Jiro's shoulder.	次郎の肩が太郎に殴られた。(日本語×言わない) Jiro's shoulder was hit by Taro. ○	次郎は太郎に肩を殴られた。○ (英文にならない?)	
			持ち主の受身文 = 日本語独特	

英語では自動詞の受動文は原則的にあり得ません。なぜなら他動詞文は S+V+O の構造なので、目的語 O を主語にすることで受動文が出来ますが、自動詞文は S+V の構造で目的語 O がないから受動文が出来ないのです。

これに対し日本語の世界では、何らかの外的影響を受けた場合にそれを受身文で表現することが多いのです。主にマイナスの影響を受けた時、「雨に降られた」とか「子供に泣かれた」「妻に死なれた」のように自動詞でも受け身表現をします。それを「迷惑の受身文」と言います。
マイナスでない影響の時も「二人は風に吹かれていた」というような表現があります。

このような「自動詞の受身文」や、「間接受身文」、「持ち主の受身文」など英語には無い表現形態があるので、外国人には理解しにくい点となっています。日本語独特の表現として理解してもらうしかありません。

参考：

- ① 「妻に死なれた」は My wife died on me. または I lost my wife.
on は「迷惑の on」と言われ、困ったというニュアンスが出る。
- ② 英語でも例外的に自動詞で受動文あり (laugh は自動詞。laugh at で他動詞の役割)
They laughed at her. → She was laughed at by them.

以 上